

## 第Ⅲ章 調査研究

### 1 野良猫における動物由来感染症病原体保有状況調査

近年、社会的な問題となっている重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について、感染リスクや予防方法を県民の方々や医療関係者に情報提供し、もって未然に感染を防止又は早期治療につなげるために、野良猫における SFTS 抗体の保有状況調査を行っている。

- ・ 令和 4 年度 SFTS 抗体保有状況調査  
163 検体 全て陰性

### 2 所有者不明で収容された犬の動物由来感染症病原体保有状況調査

平成 26 年度以降、愛知県において継続的に陽性犬が確認されているエキノコックス症（多包条虫症）について、感染症の発生動向を明らかにするための基礎的な分布状況を把握することを目的に、所有者不明で収容された犬の保有状況調査を行っている。

- ・ 令和 4 年度エキノコックス保有状況調査  
10 検体 全て陰性